© EPODOC / EPO

PN - JP58223970 A 19831226

PD - 1983-12-26

PR - JP19820106901 19820623

OPD - 1982-06-23

TI - SOLID-STATE IMAGE PICKUP DEVICE

 OKUDA AKIHIDE;OOBA SHINYA;KOIKE NORIO;ANDOU HARUHISA;IMAIDE TAKUYA

PA - HITACHI LTD

EC - H04N5/30

IC - H01L27/14

FT - 4M118/AA05; 4M118/AB01; 4M118/BA13; 4M118/DB03; 4M118/DB06; 4M118/DB07; 4M118/DD00; 4M118/FA02; 4M118/FA04; 4M118/FA07; 4M118/FA16
- 5C024/AA01; 5C024/CA02; 5C024/CA08; 5C024/CA11; 5C024/FA01; 5C024/FA12; 5C024/GA16; 5C024/JA09; 5C024/JA11; 5C024/JA23; 5C024/JA24

- IT CCD solid image pick=up device - utilises charge transfer device with horizontal and vertical shift registers. NoAbstract Dwo/6

PR - JP19820106901 19820623

PN - JP58223970 A 19831226 DW198406 005pp

PA - (HITA ) HITACHI LTD

IC - H01L27/14;H04N5/30

OPD - 1982-06-23

AN - 1984-033903 [06]

ORD - 1983-12-26

@PAJ/JPO

PN - JP58223970 A 19831226

PD - 1983-12-26

AP - JP19820106901 19820623

IN - OKUDA AKIHIDE; others:04

PA - HITACHI SEISAKUSHO KK

TI - SOLID-STATE IMAGE PICKUP DEVICE

 PURPOSE:To attain high picture quality, by arranging two lines of picture elements at a region surrounded with vertical shift register groups and transferring a signal charge of all picture elements adjacent the vertical shift registers at each field by means of the

none

# THIS PAGE BLANK (USPTO)

none	) none	) none
•		·

vertical shift registers.

- CONSTITUTION:Picture elements are shared at both sides of a double transfer three phase CTD being a vertical shift register, the vertical position of the picture elements at both sides is shifted by a half picture element, and the double transfer three-phase CTD possible for simultaneous readout of two columns or a two-phase CTD of high electrode density is used as a horizontal shift register. Since the double transfer three-phase CTD is used for the vertical shift register, the signal charge of all picture elements is read out at each field, and the signal processing is done by reading out columns (a) and (b), (c) and (d) as pairs from the horizontal register at a field and columns (b) and (c), (d) and (e) as pairs from the horizontal shift register at the next field.

- H04N5/30 ;H01L27/14

ABD - 19840410

ABV - 008078

GR - E237

none none none

THIS PAGE BLANK (USPTO)

### (19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

## ⑫公開特許公報(A)

昭58-223970

f) Int. Cl.³H 04 N 5/30H 01 L 27/14

識別記号

)

庁内整理番号 6940-5C 6819-5F 砂公開 昭和58年(1983)12月26日発明の数 1

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

#### 64固体撮像装置

20特

顧 昭57-106901

②出 願 昭57(1982)6月23日

70発 明 者 奥田章秀

横浜市戸塚区吉田町292番地株式会社日立製作所家電研究所内

⑫発 明 者 大場信彌

国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番 地株式会社日立製作所中央研究 所内

70発 明 者 小池紀雄

国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番

地株式会社日立製作所中央研究 所内

仰発 明 者 安藤治久

国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番 地株式会社日立製作所中央研究 所内

⑩発 明 者 今出宅哉

横浜市戸塚区吉田町292番地株式会社日立製作所家電研究所内

切出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区丸の内1丁目5

番1号

個代 理 人 弁理士 薄田利幸

#### 明 細 書

- 1 発明の名称 固体機像装置
- 2 特許請求の範囲
  - 1. 半導体基板上に2次元的に配列された画案を水平の画案で発生した信号電荷を水平走査方向に転送する垂直で発生した転送する垂直を水平走査方向に転送するを表するののでは、2行の画案を配し、各フィールドでは乗りの手での手でのででであるととを特徴を表した。
- 3 発明の詳細な説明

本発明は水平および垂直シフトレジスタに C T D ( Charge Transfer Device) を利用した I L - C C D 形 (InterLine Transfer Charge Coupled Device) の固体操像装置の改良に関するものである。

第1図は従来のIL-CCDの構成を示す図

3 は水平シフトレジスタ、4 は出力アンプであ る。垂直シフトレジスタとして2相駆動(2相 のクロックパルスにより動作させる)のCTD を用いた従来のIL-CCDの動作を以下に簡 単に説明する。あるフィールドの垂直帰線期間 中に1列おき(a.b.c,d列)の画常に誓 積された信号電荷を垂直2相CTDに転送し、 各水平帰線期間中に1列分(例えばd列)の信 号電荷を水平シフトレジスタに転送すべく無直 2 相 C T D を駆動し、各水平走査期間では水平 シフトレジスタを駆動して、一水平走査分の信 号館荷を出力アンプより読み出す。同様に次の フィールドでは前のフィールドで競出さなかっ た列(a',b',c',d'列)の信号電荷を読み出す。 このように従来例では、垂直2相CTDの電 極密度またはその構造上、aからd'列までの全 列の信号電荷を各フィールドですべて読み出す

ことができず、そのためフィールド残像が発生

である。1は画案、,2は垂直シフトレジスタ、

する欠点がある。

特問昭58-223970(2)

また一水平走査で a 列と b 列を時間的に同時に読み出すことができないため、 2 列分の信号が同時に必要な通常の信号処理においては 1 H 遅延線を必要とする欠点がある。

また一列離れた画素間での垂直相関を利用した信号処理を行なうため、にせ信号が発生しやすい欠点がある。

垂直シフトレジスタに2相CTDを用いて、 各フィールドで全画素の信号電荷を読み出して、 上記欠点を解消するには第2図で示すように2 相CTDの電極密度を従来の倍にする必要 ある。しかし乍ら、 画素部の垂直方向の長さむ。 7 類のなかに 500 個前後の画素を組みこむ。 っチは12~14 μm、1 相あたりのピッチは 6 ~ 7 μm程度にしなければならず、 これは現在の加工プロセス技術では困難である。

(1) この問題を解決する1つの策として、3相のうちの2相に2個の信号電荷を入れて転送するタブル転送3相方式のCTDを垂直シフ

トレジスタとして用いることが考えられる。

第3図に示すように垂直シフトレジスタにダブル転送3相CTDを用いれば6~7㎜のなかに500個前後の画案を組み込む場合、1ステージ(3相分)のピッチは24~28 μm、1 相あたりのピッチは9 μm程度でよく、これは現在のプロセス技術でも実現可能な値である。

よって第3図のようにダブル転送3相CTDを用いれば、各フィールドで全画案の信号電荷を読み出すことができ、それによりフィールド 残像の抑圧垂直解像度の向上、にせ信号の抑圧が可能となりまた1H遅延線も不要となる。この構成の1L-CCDに関しては公知である。

しかしながら、第3図に示した例では、垂直解像度の改善は可能となるが、水平方向の画素 ピッチはかわらず、水平解像度は改善されない まま欠点として残されている。

また、垂直シフトレジスタである 3 柏CTD において、 1 ステージ( 3 相)に付属している 画業が片側 2 個であるため、 3 相CTDを駆動

するための電極をスペース的に無駄なく画素で とに同等に配置することができないという欠点 も併せもっている。

(2) 現在の加工プロセス技術で各フィールドで 全画素の信号質荷読み出しを可能にする垂直 シフトレジスタとしてダブル転送3相CTD のほかに、転送方向に平行に2つに分割した 2相CTD(ととでは以降 2 分割形 2 相CT Dと呼ぶことにする)がある。 2 分割形 2 相 CTDを垂直シフトレジスタに用いたIL-CCDを第4図に示す。この構成のIL-C CDに関しても公知である。第4図に示した 例は、各フィールドで全画素の信号電荷を耽 み出すことができるため第3図の例と同様の メリットをもつ。しかしながら第3図の例と 同様に水平解像度は改善されないまま欠点と して残されている。また、面素に隣接したオ -- バーフロ -- ドレインを数けにくいという欠 点ももっている。

本発明の目的は、フィールド豊像がなく高解

像度でにせ信号のすくない高画質のILーCC D形固体操像装置を提供することにある。

選3図または第4図において、水平方向の面 業ピッチをあげるには、第5図または第6図に 示すように一面表の水平方向の寸法を狭くしか 一つでである2面素をそのCTDの両になりわける ようにすればよい。ここで両側になりわけられ た画業はインターレース実行のためにすれば に半面素分すらすとする。このようにすれば に半面素分すらないで、平方向の はあがり、そのため水平解像度は向上する。

以下、本発明の実施例を第 5 図以下で脱明する。第 5 図は本発明の一実施例を示す図である。 垂直シフトレジスタであるダブル転送 3 相じ T Dの両側に画案をふりわけ、 両偶の商素の垂直 位置を半面紫分ずらし、水平シフトレジスタに 2 列同時読み出しが可能なダブル転送 3 相じ T Dまたは高電極密度の 2 相じ T Dを用いる。

、無値シフトレジスタにダブル転送 3 相C T D

特別昭 58-223970 (B)

を用いているため、各フィールドで全面者の信号電荷を読み出すことができるが、あるフィールドでは a 列と b 列、 c 列と d 列をペアにして 水平レジスタより読み出し、 次のフィールドでは b 列と c 列、 d 列と e 列をペアにして 水平シフトレジスタより読み出し信号処理を行なう。 このようにして 擬似インクーレースを行なう。

第6図は本発明の一異施例を示す図である。 垂直シフトレジスタにダブル転送3相じTDの かわりに2分割形2相CTDを用いる以外は第 5図の例と構成・動作とも同じである。

第5~6図に示した実施例によれば、各フィールドでの全順素の信号電荷読み出しと、2列同時読み出しによる擬似インターレースが可能で、さらに水平方向の両素ピッチをあげることができる。よってフィールド残像のない、にせ信号の少ないかつ、垂直・水平方向ともに高解像度の順像をえることができる。

また、第 5 図に示した実施例によれば、第 3 図に示した例とくらべて垂直の 3 相 C T D を駆

第1 図は従来のI L - C C D 形固体操像装置を説明する図である。第2 図~第4 図は本発明を説明するための図である。第5 図~第6 図は本発明の実施例を示す図である。

1 … 画景

2 ··· 2 相 C T D

3 …水平シフトレジスタ

4 … 出力アンプ 5 … ダブル 転送 3 相 C T D

6 ··· 2 分割形 2 相 C T D

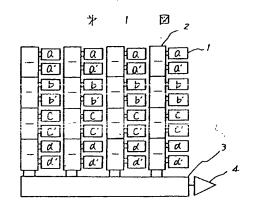
7…ダブル転送3相CTDまたは2相CTD

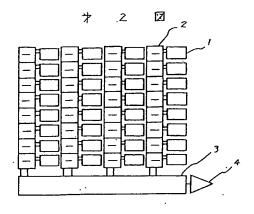
動するための電極をスペース的に無駄なく適素 どとに同等に配置することができるという効果 がある。

また、第6図に示した実施例によれば、第4 図に示した例と比べて画素に隣接したオーバーフロードレインを設けやすいという効果がある。 以下に、本発明の効果を列記する。

- (1) 各フィールドで全面素の信号電荷を読み出すためフィールド残像が発生しない。
- (2) 各フィールドで全列の信号電荷を読み出すために、垂直解像度が向上する。
- (3) 水平レジスタに 2 列同時読み出しが可能な 水平レジスタを用いるため、 1 H 遅延線を必 要としない。そのため信号処理が容易になる。
- (4) 上下にとなりあった画案で垂直相関をとって 信号処理をするため、垂直方向のにせ信号が少なくなる。
- (5) 水平方向の画素ピッチが上がるため水平方向の解像度があがる。

図面の簡単な説明





代理人弁理士 海 田 和(多)学

# 新聞昭58-223970(4)

